

# 科学技術の潮流

## JUST研究開発戦略センター

### 成長目覚ましく

東南アジア諸国連合（ASEAN）各国の研究開発費総額は小さく、首位のタイ（約147億ドル、2019年）でも日本の12分の1程度である。他方、シンガポールが人口当たりの研究者数やハイテク製造業の割合などのイノベーション指標で欧米並みの水準を誇るほか、こうした指標面において直近10年のマレーシアやタイの成長も目覚ましい。

研究開発を支える人材育成を担ってきた各国の大学も近年存在感を増しており、学界での評判や論文被引用数

る。

中でもNUSは、05

年の大学法人化以降自

律性の高い経営が可能

となり、外部から資金

を得やすくなったほ

か、米国大学などの

国際共同研究プログラ

ムの展開や優秀な留学

生の受け入れなど「ア

ジアにおけるグローバル

スタートアップへの期

待が大きい。こうした

ことが飛躍につながっ

たことされる。

### イノベ推進

ASEAN各国で

は、さらなる経済・産

業成長に向けて、新産

業やイノベーションの

創出が重要視されてお

り、その担い手として

スタートアップへの期

待が大きい。こうした

ための多様な取り組み

を展開している。

## ASEAN地域の科学技術動向

2

# 存在感増す東南アの大学



科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センターフェロー（海外動向ユニット）

山村 将博

08年JSTに入職。国際事業担当、産学連携事業担当を経て、NPO法人STSフォーラムに出向し国際会議運営業務に従事。18年11月より現職。EU、ASEANの動向調査を担当。

例えばNUSの起業

支援機関「NUS E

nterprise」

は、学生を海外企業で

送るプログラムやスタ

ートアップへのオフィ

ス提供、資金調達支援

などを通じ起業家を数

多く輩出してきた。21

年3月には、特許検索

・分析ツール開発企業

「PatSnap」

が、同機関の支援を受

けた企業として初めて

ユニコーン企業（企業

評価額10億ドル以上の非

上場企業）となり話題

になった。同社にはソ

フトバンクも出資して

いる。

また、マレーシア・

プロラ大学（UPM）

のイノベーションラポ

「InnoHub」

分野で80社以上のスタ

ートアップが設立され

は、同国におけるテク

ノプレナー（技術とビ

ジネスの両方に精通す

る起業家）育成に貢献

している。同ラポによ

る起業家教育や資金調

達支援などを受け、農

業、バイオテクノロジー

、工学、食品などの

戦略や地域振興策など

を検討する上でも、A

SEAN各国の実態を

注視していくことは大

いに参考になるだろ

う。（金曜日に掲載）

## 英国QS社「大学ランキング2024」における日・ASEAN諸国の上位大学

順位	大学名	所在国
8	シンガポール国立大学	シンガポール
26	南洋理工大学	シンガポール
28	東京大学	日本
46	京都大学	日本
65	マラヤ大学	マレーシア
80	大阪大学	日本
91	東京工業大学	日本
113	東北大学	日本
137	マレーシア・サイنز大学	マレーシア
158	マレーシア・プロラ大学	マレーシア
159	マレーシア・ケバングサン大学	マレーシア
164	九州大学	日本
176	名古屋大学	日本
188	マレーシア工科大学	マレーシア
196	北海道大学	日本
199	早稲田大学	日本
211	チュラロンコン大学	タイ
214	慶応義塾大学	日本
237	インドネシア大学	インドネシア

QS World University Rankings 2024: Top global universitiesを基にCRDSで作成  
https://www.topuniversities.com/university-rankings/world-university-rankings/2024